



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成30年度学校だより
第3号
平成30年5月31日発行



じっくり取り組み、充実の6月に



梅雨入り間近。正門横のアジサイのつぼみはずいぶん膨らんできました。職員玄関のつばめは、4羽のひなが大きな口を開けて親鳥から餌をもらい、すくすく育ち、一昨日巣立ちました。

5月は、体力テスト、市小学生陸上大会、修学旅行など、多くの行事がありました。体力テストは今年度、全校が一斉に行い、学級ごとに種目を回る方法を取りました。30秒で何回できたかを数える反復横跳びや上体起こしでは、高学年が低学年の回数を数えました。高学年に励まされ、一生懸命がんばる低学年の姿は微笑ましいものでした。3年生以上の子どもたちは、各学級で代表委員を先頭に並び、大きな声であいさつをして、測定に臨みました。お互いに声をかけながらきびきび行動ができ、予定していた時間内にすべて終わることができました。

6年生が楽しみにしていた5月24,25日の修学旅行は、1年生やおうちの方からの「てるてる坊主」のおかげか快晴のもと、活動できました。皆、元気に過ごし、充実した体験や学習をしました。奈良や大阪では、歴史的な建造物やその時代に生きた人々の営み、知恵や技術に感動する児童の姿がありました。また、キッザニア甲子園や海遊館、USJでは、友達と折り合いをつけながら時間を有効に使えるように考え、相談して行動する体験が多くできました。二日間の貴重な体験を活かし、さらに充実した学校生活を過ごしていけるように応援していきます。

さて、6月は「いじめ対策強化月間」です。困っている子がいない、思いやりのある集団づくりを目指して取り組みを行います。「いじめのない、明るく楽しい学校をめざして」のアンケート実施後、児童一人一人と担任とが個別面談を行います。

けんかやふざけ合いであっても、見えないところでいじめにつながる場合もあります。また、「暴力を伴わないいじめ」の場合、その始まりは児童の間でよく見られるトラブルです。成長途上にある子どもが集まる学校では、ささいなトラブルが生じます。仲よし同士の会話のなかで、攻めるような言い方をして相手が困っている表情をしても気付いていないという場面を見て、声をかけることもありました。

「いじめは、しない、させない、許さない。」今後も児童の人間関係をじっくりよく見て、個々のよさを大切にしながら、人を大切に思う心をはぐくみ、困りごとを解決するよう取り組みをしていきます。今後ご家庭や地域でお気付きになることがありましたら、すぐにお知らせください。

雨の多い季節ではありますが、祝日もなく、月曜日から金曜日まで1週間をじっくりと取り組めるひと月でもあります。日々の学習を大切に、充実した6月にしたいと考えています。今月もよろしくお願ひいたします。



校長 小森 昌子
教 職 員 一 同

気付き、考え、行動する

5月20日は舞鶴市小学生陸上大会がありました。最後の練習日、参加する子どもたちに「あなたたち一人一人が志楽小学校の『顔』です。『志楽小学校の子は・・・』と志楽小の子を代表することになります。精一杯がんばってきましょう。」と伝えました。

当日、子どもたちは本当に気持ちよく、アップをし、競技に臨み、自己新記録を出す子も多かったです。競技でのがんばりはもちろんですが、自分の競技が始まる前、終わった後のテントの中

での姿が何より素敵でした。

競技に出場する友達に声を合わせて、一生懸命応援しています。5年生も6年生も皆で応援するのです。「次は〇〇だ。」と友達を見つけては、声を合わせて「志楽！」と。

修学旅行でも、二日目午後の奈良公園での行動には驚かされました。疲れている中、それまでよりもきびきびと動くのです。きっと「観光客が多い中、さっと行動しないと迷惑をかける」と気付き、一人一人が考えて行動したのでしょうか。素敵な子どもたちに育っています。